

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | I-6 | ・環境上、国道や線路が近く、やむを得ず施錠をしていた事もあるが、現在は勝手に外へ出ようとされる利用者はおられない。しかし、職員の意識の中ではつい帰宅願望の言動が聞かれたり、廊下を行ったり来たりされると、外に出て徘徊されるのではないかと特に職員が少ない時間帯には不安になり施錠をした方が良いのではないかと考えてしまうところがある。 | ・利用者の行動を制限する様な施錠はしない | ・防犯上、日曜日と夜間は施錠をする。19:00～翌8:30まで施錠。 ・身体拘束について繰り返し研修を開催。 ・不穏等の行動があれば、寄り添い、カンファレンス等で職員の対応を標準化する。 | 12ヶ月 |
| 2 | Ⅲ-33 | ・実際、看取りをすることに対し、職員の間で不安の声がある。 | ・看取りの理解を深める。 | ・シミュレーションを通して理解する。 ・看取りについてマニュアルからスタートし不安の内容を掘り下げ解消していく。 | 12ヶ月 |
| 3 | I-2 | ・地域の中で知名度が低く、もう1か所の施設と間違えられる事もある。独自のアピールが必要である。 | ・地域の人たちといるんな関わりを持つ機会をつくり存在感を示し地域ボランティアまでつなげる。 | ・町内のみならず、地区に向けて関係作りを行っていく ・交通安全運転者会にマスコットの提供を行う(職員と利用者合同で作成)。 ・小学校中学校に雑巾の寄贈を行う(利用者が作成) ・交流センターの活動にも目を向け、参加出来る事には参加する。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。